

～ 食と緑が支える豊かな暮らしをめざして ～

食と緑の豊田加茂地域レポート 2024

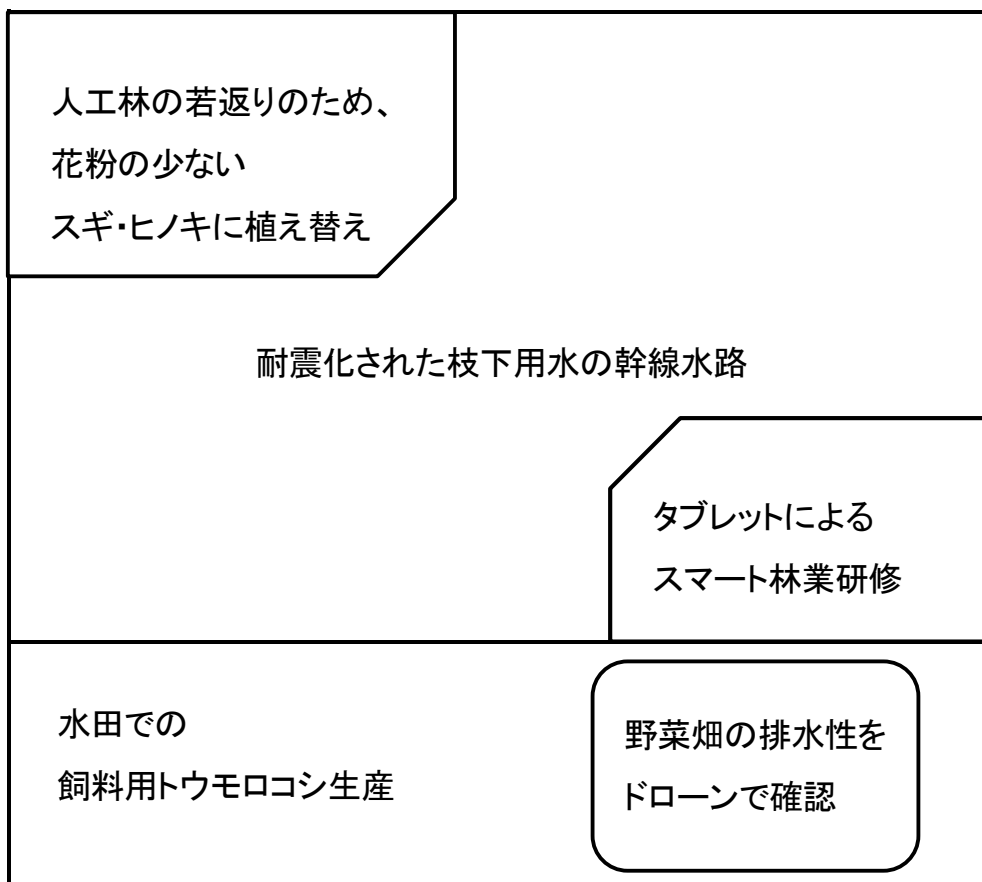
— 2023 年度の実績報告 —



2024年8月
豊田加茂農林水産事務所



表紙写真の説明



レポート中、「豊田加茂農林水産事務所の管内（豊田市、みよし市）」は「管内」としました。「農業協同組合」は「農協」としましたが、固有名称については「JA」と表記しました。

単位は、下記の表記としました。

「長さ」・・・メートル「m」、キロメートル「km」

「面積」・・・アール「a」、ヘクタール「ha」、
平方メートル「m²」、平方キロメートル「km²」

「体積」・・・立方メートル「m³」

「重さ」・・・キログラム「kg」、トン「t」

目次

I 食と緑の地域レポート 作成の趣旨	2
II 豊田加茂地域重点推進プランの施策体系図	3
III 2023年度の主な取組	
目指す姿	
① 新規就農者の確保	4
② 効率的な森林整備を担い得る技術者の確保・育成	5
③ 戦略を推進する新たな取組と拡充	6
④ 新技術及び優良品種・品目の導入	7
⑤ 施設の更新整備と耕作放棄地の適切な保全	8
⑥ 高性能林業機械による木材生産量	9
⑦ 林道整備・保全延長	10
⑧ 街道事業者の取組内容の紹介等	11
⑨ あいち森と緑づくり事業実施箇所における地域住民等による森林保全活動	12
⑩ 小中学生等による体験放流を通じた河川への理解醸成	13
⑪ 農業用排水機場・排水路・ため池の耐震化等により守られる面積	14
⑫ 枝下用水幹線水路の耐震化により守られる面積	15
⑬ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積	16
IV 重点推進事項別の数値目標達成状況	17
< 地域トピックス >	
○ 食と花の街道の事業者の取組を web ページでPR しています	18
○ スマート農業の導入が進んでいます	19
○ 豊田市内の小中学校で枝下用水の出前講座をしました	20
○ 木材利用の促進が図られています	21
○ 被災者を安全かつ迅速に救助するため、「林業労働災害レスキュー合同訓練」を開催しました	22

I 食と緑の地域レポート 作成の趣旨

愛知県では、2004年4月に「食と緑が支える県民の豊かなくらしづくり条例」を施行し、県民との協働・連携に努めながら、安全で良質な農林水産物の持続的な生産と供給の確保及び森林等の多面的機能に対する県民の理解と活動の促進に関する様々な施策に取り組んできました。

また、2020年12月には本条例の実現に向け、第4期の計画となる「食と緑の基本計画2025」を策定・公表しましたが、豊田加茂地域においても地域の特色や実情を踏まえ、2025年度までの目標とその目標達成のための取組等を明らかにした「食と緑の基本計画2025豊田加茂地域重点推進プラン」を作成し、この計画の実現に向けて各施策を総合的かつ計画的に推進しています。

この地域レポートは、計画の進行管理の一つとして、地域推進プランに掲げる施策目標の達成状況を把握し、プランの構想を実現するための今後の取組方法等について関係者の共通認識を深めるとともに、各種事業を推進するに当たって、地域の実情を踏まえた有効かつ適切な事業調整を進めるための資料として、2023年度（令和5年度）の対応状況を中心に取りまとめたものです。

Ⅱ 豊田加茂地域重点推進プランの施策体系図

「食と緑が支える県民の豊かな暮らし」の実現に向けて

柱1：生産の柱

持続的に発展する農林水産業の実現

- (1) 担い手の確保・育成
 - ① 新規就農者の確保
 - ② 効率的な森林整備を担い得る技術者の確保・育成
- (2) 産地戦略による生産力パワーアップ
 - ③ 戦略を推進する新たな取組と拡充
 - ④ 新技術及び優良品種・品目の導入
- (3) 農業基盤整備と地域営農の推進
 - ⑤ 施設の更新整備と耕作放棄地の適切な保全
- (4) 資源を生かす林業の実現
 - ⑥ 高性能林業機械による木材生産量
 - ⑦ 林道整備・保全延長

柱2：暮らしの柱

農林水産の恵みを共有する社会の実現

- (5) 活力ある農山村の実現
 - ⑧ 街道事業者の取組内容の紹介等
 - ⑨ あいち森と緑づくり事業（里山林整備）実施箇所における地域住民等による森林保全活動
 - ⑩ 小中学生等による体験放流を通じた河川への理解醸成
- (6) 農山村の防災・減災対策の推進
 - ⑪ 農業用排水機場・排水路・ため池の耐震化等により守られる面積
 - ⑫ 枝下用水幹線水路の耐震化により守られる面積
 - ⑬ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積

Ⅲ 2023年度の主な取組

1 持続的に発展する農林水産業の実現

(1) 担い手の確保・育成



目指す姿 ① 新規就農者の確保

農業改良普及課

【施策の趣旨】

将来にわたって農産物を安定的に供給できる農業構造を実現するため、農家の後継者を始め、農業法人への雇用就農や定年帰農を含む新規就農、企業やNPOの農業参入により新しい担い手を幅広く確保し、定着を図ります。

【具体的な取組内容】

新規就農説明会を6月に開催し、11人の参加がありました。また、豊田加茂地域への新規就農希望者23人から就農についての個別相談があり、延べ30回対応しました。

これらを通して就農が具体化した11人に、栽培品目ごとの収量や販売単価等の情報を提供するなど相談を重ねて、青年等就農計画の作成を支援しました。また、豊田市、みよし市の農業研修機関の運営を支援しました。



新規就農説明会

【取組の成果】

新規就農者数： 15人

当事務所が実施した集団や個別での就農相談、青年等就農計画の作成支援等を通して、就農しました。

就農形態内訳	
就農形態	人数
新規学卒	0
Uターン	1
新規参入	14
(独立自営)	8
(雇用就農)	3
合計	15

住所別内訳	
住所地	人数
豊田市	9
みよし市	1
その他	5
合計	15

※調査対象65歳未満

【今後の取組】

引き続き、市や農協等と連携しながら、個別相談により新規就農希望者の計画的就農を支援し、定着に取り組めます。

目指す姿 ② 効率的な森林整備を担い得る技術者の確保・育成

森林整備課

【施策の趣旨】

本格的な利用期を迎えた森林資源を活用し、今後増加が見込まれる木材需要に対応するため、林業を担う人材の確保と林業技術者の育成を進めます。

【具体的な取組内容】

林業を担う人材の確保のため、公益財団法人愛知県林業振興基金等と連携して、一般の方を対象とした林業の仕事ガイダンスと林業作業見学ツアーを各1回（延べ16人）実施しました。

また、林業高校生を対象とし、木材生産体験と見学会を各1回（延べ47人）実施しました。

この他、林業経営体の林業技術者の育成のために、地形データ等の活用支援や植栽研修、安全作業の順守のため、巡回指導等を延べ35回実施しました。



木材生産体験



若手作業員に対する植栽研修

【取組の成果】

新規林業就業者数：21人

就業形態内訳	
就業形態	人数
新規学卒	5
再就職	16
合計	21

出身住所別内訳	
住所地	人数
豊田市	11
みよし市	0
県内（管外）	9
県外からのI・Uターン	1
合計	21

【今後の取組】

引き続き、関係機関と連携して、新規林業就業者の確保に努めるとともに、林業技術者の育成や安全作業の定着に取り組めます。

(2) 産地戦略による生産力パワーアップ



目指す姿 ③ 戦略を推進する新たな取組と拡充

農政課

【施策の趣旨】

高齢化による担い手不足などの課題をもつ産地において、「人」、「農地」、「生産技術」、「施設等」、「販売」の5つの視点から産地戦略を作成しており、関係機関と連携し、補助事業の活用等を通じて、目標達成に向けた具体的な取組を推進し、産地の維持・発展を図ります。

【具体的な取組内容】

- 1 補助事業による産地戦略の取組支援
 - ・5産地の支援を行いました。
- 2 新たな戦略策定と既存戦略の見直し
 - ・部門別会議及び全体会議により、桃・梨・柿、いちご、茶の3品目の産地戦略の見直し案、及び新規策定案(ぶどう)の作成を支援するとともに、全産地の進捗状況を確認しました。

産地戦略一覧				
No.	品目	産地	策定年度	見直年度
1	なす	豊田市・みよし市	2019	2022
2	はくさい	豊田市・みよし市	2020	2022
3	桃・梨・柿	豊田市	2019	2024
4	いちご	豊田市	2019	2024
5	茶	豊田市	2019	2024
6	水稻・麦・大豆 ・飼料作物	豊田市 (平坦部)	2020	2023
7	水稻・麦	みよし市	2020	2025 (予定)
8	ぶどう	豊田市	2024	2029 (予定)

【取組の成果】

- 1 補助事業による産地戦略の取組支援 (5産地)
 - (1) いちご
 - ・あいち型産地パワーアップ事業 (ハウスの建設、給湯器の導入)
 - (2) 茶
 - ・あいち型産地パワーアップ事業 (蒸機・風力選別機等の導入、茶棚・被覆資材の導入)
 - (3) 水稻・麦・大豆・飼料作物 (豊田市)
 - ・あいち型産地パワーアップ事業 (レーザーレベラー等、穀物乾燥機・ホイールローダー等の導入)
 - (4) はくさい (豊田市・みよし市)
 - ・あいち型産地パワーアップ事業 (直進アシスト機能付きトラクター等の導入)
 - (5) 水稻・麦 (みよし市)
 - ・麦・大豆生産技術向上事業 (ドローンによる生産省力化)
- 2 新たな戦略策定と既存戦略の見直し (1産地)
 - ・1産地 (水稻・麦・大豆・飼料作物) において、産地戦略が見直しされました。



導入されたホイールローダー

【今後の取組】

引き続き、生産者(組織)、地域農業再生協議会、農協、市と連携し、会議等の開催により補助事業の活用や具体的な取組への支援を積極的に行っていきます。

【施策の趣旨】

ロボット技術やICT(情報通信技術)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現できる技術の選定と導入を支援します。

野菜、果樹等では気候変動や消費者ニーズに対応できる優良品種、花きでは有望系統の品種登録申請支援を行います。



ツバキ「MN-1223」の花

【具体的な取組内容】

新技術の選定については、電動アシストスーツについて、ハクサイの定植作業における作業負担軽減効果の確認を行いました。また、露地野菜ほ場において、ドローンの空撮画像を使って排水性改善に取り組みました。

優良品種の選定について、野菜では、ハクサイの早生品種について、果樹では、モモの晩生品種「黄ららのきわみ」等について比較試験を行いました。

花きでは、開花期間が約半年間と長いツバキの有望系統について、既存品種との比較調査等の品種登録に向けた申請の支援を行いました。



アシストスーツを利用した定植作業

【取組の成果】

ツバキの有望系統については、農家と協力しながら品種登録用の申請書類を完成させ、2023年10月に農家が品種登録申請を行いました。

電動アシストスーツについては、作業負担軽減効果はあるものの、動作がやや遅いため、実用するにはこの点を改善する必要があることがわかりました。また、ドローンの空撮画像利用、野菜、果樹の品種選定については、それぞれ調査結果のまとめ、新技術や有望品種について検討を行うことができました。



ハクサイの生育状況を確認する様子

【今後の取組】

引き続き、新技術及び優良品種・品目の導入に向けて現地実証と栽培指導を行います。

(3) 農業基盤整備と地域営農の推進



目指す姿 ⑤ 施設の更新整備と耕作放棄地の適切な保全

建設課

【施策の趣旨】

担い手への農地の集積・集約化や生産コストの削減を促進するため、生産性の向上を図る農地の整備を推進するとともに、将来にわたって耕作放棄地の拡大防止を図り、農地の生産性を維持するため、農業水利施設などの適期、適切な整備・更新を推進します。

【具体的な取組内容】

農地環境整備事業つくば地区・下山地区・大野瀬地区、西中山地区の4地区で、老朽化した農業水利施設（用水路・排水路）の整備・更新、暗渠排水等の工事及び設計を行いました。

【取組の成果】

中山間地域となる旧旭町、旧下山村、旧稲武町、旧藤岡町において農地環境整備事業を実施し、施設の整備・更新を進めており継続的な営農のための基盤を整備しています。



工事前の排水路
(大野瀬地区)

【今後の取組】

引き続き実施中の地区の完了に向けて、土地改良区や地元工区等の関係者と調整しながら事業を推進し、農業生産基盤の整備工事を行っていきます。



工事により整備された排水路
(大野瀬地区)

(4) 資源を生かす林業の実現



目指す姿 ⑥ 高性能林業機械による木材生産量

森林整備課

【施策の趣旨】

高性能林業機械を活用した木材生産の効率化に取り組み、木材の安定供給を推進します。

【具体的な取組内容】

木材生産の効率化の前提となる施業の集約化のために、森林組合等が行う森林経営計画の策定を支援しました。

(計画策定面積：173ha)

林業経営体による高性能林業機械の導入の支援を行うとともに、木材生産現場における効率的な運用を指導しました。

(導入：プロセッサ1台)

また、利用期を迎えた森林資源を活用するため、「伐る・使う→植える→育てる」循環型林業による木材生産を促進するとともに、新たな植栽と獣害対策に対する助成（あいち森と緑づくり事業）も行いました。(4ha)



プロセッサによる造材状況

【取組の成果】

高性能林業機械による木材生産量 39,800 m³

【今後の取組】

引き続き、林業経営体が行う、木材の生産性を高める取組に対して、支援・指導します。

管内林業経営体の保有する高性能林業機械の推移				単位：台	
機種名	機能	2020年度末	2023年度末時点	増	
スイングヤーダ	材の掴み+架線集材	10	10	0	
タワーヤーダ	支柱を備えた架線集材	0	1	1	
フォワーダ	材の掴み+運材	8	11	3	
プロセッサ	材の掴み+造材	10	10	0	
ハーベスタ	立木伐倒+造材	2	2	0	
フェラーバンチャ	立木伐倒+掴み	3	4	1	
計		33	38	5	

保有のうち主に県内で稼働した機械数

【施策の趣旨】

木材生産や間伐等の森林整備を効率的に実施するため、林道を整備・保全します。

【具体的な取組内容】

県営事業による林道開設を行うとともに、豊田市が行う開設・改良・危険地対策・舗装工事に対し、単独県費補助事業により支援しました。

県営の代行林道事業は「たひらさわひらせせん田平沢平瀬線」と「かしょうぜかしわぼらせん河上瀬柏洞線」の2路線において、開設工事を進めました。

また、豊田市が事業主体となり実施する単独県費補助の小規模林道事業は13件、14路線に対し補助金を交付しました。

【取組の成果】

林道の整備・保全延長 4,061m

(内訳:開設714m 改良1,180m 危険地対策242m 舗装1,925m)

【今後の取組】

引き続き、木材生産や間伐等の森林整備の効率化を図るため、林道の整備・保全を推進します。



県営事業による林道開設



走行の安全を高める舗装

2 農林水産の恵みを共有する社会の実現

(5) 活力ある農山村の実現



目指す姿 ⑧ 街道事業者の取組内容の紹介等

農政課

【施策の趣旨】

「食と花の街道認定事業」の認定を受け、豊田市内で活動している「とよた五平餅街道」と「いなぶジビエグルメ街道」の魅力を広く発信します。

【具体的な取組内容】

「とよた五平餅街道」と「いなぶジビエグルメ街道」の店舗取材し、その情報を事務所 web ページに掲載しました。



せせらぎの厨 すずしろの五平餅

【取組の成果】

- ・とよた五平餅街道 3店舗
せせらぎの厨^{くりや} すずしろ (和合町)
八千代 (岩神町)
どんぐりの里いなぶ どんぐり横丁 (武節町)
- ・いなぶジビエグルメ街道 3店舗
カントリーレストラン溪流荘 (田津原町)
ホテル岡田屋 (武節町)
寿司と和食の店つたや (武節町)



カントリーレストラン溪流荘の猪ドックン! 旭の矢作ダム Curry

【今後の取組】

引き続き、街道事業者の店舗等取材し、その情報を、事務所の web ページに掲載し、街道の魅力を広く発信していきます。



「食と花の街道認定事業」は「いいともあいち運動」活動の一環です



web ページは、二次元コード又は以下の URL から御覧ください。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toyotakamo-nourin/syokuhanatoyotakamo.html>

目指す姿 ⑨ あいち森と緑づくり事業（里山林整備）実施箇所における
地域住民等による森林保全活動

林務課

【施策の趣旨】

県土や自然環境の保全、水源の涵養、洪水の防止などの森林が有する多面的機能を十分に発揮させるため、地域住民等による森林の保全活動を推進します。

【具体的な取組内容】

あいち森と緑づくり事業（里山林整備）により、森林の持つ多面的機能の発揮に向けた取組（間伐、竹林整備）を支援しました。

同事業実施地においては、地元説明会・現地検討会（計3回）に参加し、事業実施後の里山林の保全活動の大切さを説明・助言をすることにより、地域住民等の理解促進に努めました。

【取組の成果】

地域住民等による森林の保全活動面積：4.5ha

（内訳）2022年度までの、あいち森と緑づくり事業地での保全活動面積 4.0ha

2023年度から、同事業地での活動を開始した保全活動面積 0.5ha

【今後の取組】

引き続き、説明会などを通して、地域住民等による森林の保全活動を推進します。



地域住民らによる森林の保全活動
（刈取った草の搬出）



あいち森と緑づくり体感ツアー

目指す姿 ⑩ 小中学生等による体験放流を通じた河川への理解醸成

農政課

【施策の趣旨】

内水面漁業の振興を図るため、小中学生等を対象とした体験放流を通じて、河川や魚類への関心を高め理解醸成を進めていきます。

【具体的な取組内容】

管内の漁業協同組合が主催する小学生等を対象とした稚あゆ、あまごの体験放流会の時期や内容について助言を行い、併せて体験放流会時に出前授業（あゆの生態等を紹介）を実施しました。



あゆを放流する子どもたち

【取組の成果】

体験放流会は3漁協（名倉川漁協・矢作川漁協・巴川漁協）で4月から10月にかけて8回実施され、小学生等延べ173人が参加しました。



出前授業の様子

【今後の取組】

引き続き、漁協が開催する体験放流会を支援し、参加した小中学生等が河川や魚類への関心を高め、理解醸成が図られるよう、助言・提案を行っていきます。



放流するあまごの観察をする様子

(6) 農山村の防災・減災対策の推進



目指す姿 ⑪ 農業用排水機場・排水路・ため池の耐震化等により
守られる面積

建設課

【施策の趣旨】

巨大地震や集中豪雨等による自然災害から県民の生命・財産や暮らしを守るため、農村地域の防災・減災対策を推進します。

【具体的な取組内容】

たん水防除事業では、上郷2期地区で排水機場の更新整備を継続して実施し、新たに市木川地区が採択され実施設計を行いました。

防災ダム事業では、八木池上池・下池地区始め7地区のため池の耐震化工事等を行い、2地区が完了しました。

また、新規2地区で工事に向けての詳細設計及び地域の関係者との調整を行いました。

緊急農地防災事業（老朽ため池整備）では、切山池1号地区の改修工事を継続して実施しました。

【取組の成果】

洪水や地震被害のリスクから守られた地域の

面積：49ha（2023年度完了）

防災ダム事業 八木池上池・下池地区 16ha

孫目池地区 33ha

【今後の取組】

引き続き市と土地改良区等関係者と調整しながら、実施中の地区での事業の推進と新規地区の計画作成を進め、耐震化等の整備を行います。



耐震のための堤体押さえ盛土
(防災ダム事業 八木池上池・下池地区
下池 池の内側)



堤体押さえ盛土の施工状況
(防災ダム事業 八木池上池・下池地区
上池 池の内側)

【施策の趣旨】

巨大地震による枝下用水幹線水路の被災に伴う二次災害から県民の生命・財産や暮らしを守り、農業用水の安定的な供給を図るため、枝下用水幹線水路の震災対策を推進します。

【具体的な取組内容】

震災対策農業水利施設整備事業 枝下用水地区及び枝下用水2期地区で用水路の耐震構造への全面改修工事を進めました。

また、枝下用水地区では、高盛土部の地盤改良による耐震化工事を併せて実施しました。



枝下用水幹線水路の改修工事
(枝下用水地区)

【取組の成果】

巨大地震による枝下用水幹線水路の被災に伴う二次災害の被災リスクから守られた地域の

面積： 69ha

枝下用水地区 32ha

枝下用水2期地区 37ha



工事が完了し耐震化された枝下用水幹線水路
(枝下用水地区)

【今後の取組】

引き続き市及び土地改良区並びに地域住民の方等の関係者と調整しながら事業を推進し、枝下用水幹線水路の耐震化を行っていきます。

目指す姿 ⑬ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が
図られる面積

森林整備課

【施策の趣旨】

巨大地震や集中豪雨等による自然災害から県民の生命・財産や暮らしを守るため、農山村地域の防災・減災対策を推進します。

【具体的な取組内容】

土砂の流出や山崩れなどの山地災害の復旧と予防を目的とし、荒廃溪流へは治山ダムを設置し、山腹崩壊地へは土留工等の山腹工事を実施するなど、24か所で治山施設を整備しました。

【取組の成果】

山地災害に対する防災機能向上が
図られた面積 121ha (24か所)
(内訳) 公共事業 106ha (9か所)
単県事業 15ha (15か所)



荒廃溪流に設置した治山ダム

【今後の取組】

今後も、山地災害の危険性が高い箇所について、治山工事を計画的に実施します。



山腹崩壊地に施工した法枠工

IV 重点推進事項別の数値目標達成状況

柱1：生産の柱

持続的に発展する農林水産業の実現

重点推進事項	目指す姿	2025 目標数値 (※累計値)	2021	2022	2023	2024	2025
			実績の推移 (目標数値が累計値の項目の括弧書きは年度実績)				
(1) 担い手の確保・育成	① 新規就農者の確保	毎年 15人	23	14	15		
	② 効率的な森林整備を担い得る技術者の確保・育成	毎年 12人	18	16	21		
(2) 産地戦略による生産力 パワーアップ	③ 戦略を推進する新たな取組と拡充	※ 5年間で 10件	4	(6) 10	(6) 16		
	④ 新技術及び優良品種・品目の導入	※ 5年間で 4件	2	(3) 5	(1) 6		
(3) 農業基盤整備と地域営農の推進	⑤ 施設の更新整備と耕作放棄地の適切な保全	(つくば地区) ※ 5年間で 59ha	<進捗率> <63%> 0	<79%> 0	<91%> 0		
(4) 資源を生かす林業の実現	⑥ 高性能林業機械による木材生産量	5年後に 40千㎡	38,640	35,700	39,800		
	⑦ 林道整備・保全延長	毎年 3,100m	3,395	4,680	4,061		

柱2：暮らしの柱

農林水産の恵みを共有する社会の実現

重点推進事項	目指す姿	2025 目標数値 (※累計値)	2021	2022	2023	2024	2025
			実績の推移 (目標数値が累計値の項目の括弧書きは年度実績)				
(5) 活力ある農山村の実現	⑧ 街道事業者の取組内容の紹介等	※ 5年間で 30箇所	8	(7) 15	(6) 21		
	⑨ あいち森と緑づくり事業(里山林整備)実施箇所における地域住民等による森林保全活動	※ 5年後に 43ha	39	(1) 40	(5) 45		
	⑩ 小中学生等による体験放流を通じた河川への理解醸成	※ 5年間で 30回	7	(9) 16	(8) 24		
(6) 農山村の防災・減災対策の推進	⑪ 農業用排水機場・排水路・ため池の耐震化等により守られる面積	※ 5年間で 451ha	55	(34) 89	(49) 138		
	⑫ 枝下用水幹線水路の耐震化により守られる面積	※ 5年間で 231ha	108	(60) 168	(69) 237		
	⑬ 治山施設の整備により山地災害に対する防災機能向上が図られる面積	毎年 127ha	114	114	121		

食と花の街道の事業者の取組を web ページで PR しています

農政課

【取組の趣旨】

県産の農林水産物を活用し、食や花をテーマとして、地域活性化と観光振興に向けた活動を行う地域を「食と花の街道」として認定し、その魅力を広くPRしています。

豊田加茂地域で活動している「とよた五平餅街道」と「いなぶジビエグルメ街道」の店舗について、事務所webページで情報を発信しています。

【取組内容】

2021年度から、各街道事業者の店舗やイベントを年に6件以上紹介することを目標に情報発信に取り組んでいます。

店舗へ直接取材に出向き、営業時間や休業日等の基本的な情報はもとより、店の特徴や歴史、こだわり、美味しく提供するための工夫等を聞き取り、その内容をコンパクトにまとめて掲載しています。

また、店舗所在地がわかりやすいよう地図も掲載してあります。

【今後の展開】

引き続き、街道事務局と連携しながら、街道事業者の情報を事務所 web ページに掲載し、地域の魅力を広く発信していきます。



とよた五平餅街道は赤いのぼり旗が目印



ジビエを提供する山間のお店



街道の地図

web ページは、二次元コード又は以下の URL から御覧ください。



<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toyotakamo-nourin/syokuhanatoyotakamo.html>

【取組の趣旨】

農業経営の効率化、高度化に向けてスマート農業器機の導入を支援しています。大規模水田作、茶、施設園芸（イチゴ、トマト栽培）、酪農・肉牛部門で導入が進んでいます。

導入されている主な機械・装置は、下表のとおりです。

【導入された機械・装置】

	導入機材	導入戸数	台数	主な用途・効果
大規模水田作等	ドローン	11	13	水稻等の病虫害防除
	田植機GPSガイダンス等	8	11	位置情報を元に走行経路をガイドする機能を備えた田植機
	トラクターGPSガイダンス等	7	8	位置情報を元に走行経路をガイドする機能を備えたトラクター
	乗用管理機GPSガイダンス等	3	3	位置情報を元に走行経路をガイドする機能を備えた乗用管理機
	収量コンバイン等	2	3	収穫作業と同時に収穫量を計測できるコンバイン
	生育に応じた可変施肥機	1	1	施肥量を加減、調整しながら散布できる施肥装置
	水管理システム（水位センサー）	3	174	水田の水位を遠隔で確認できるシステム
	除草ロボット（茶農家含む）	6	6	ラジコンまたは自律的に自走する草刈機
	ほ場管理システム（茶農家含む）	7	8	ほ場マップや作業記録を表示・入力するシステム
施設園芸	統合環境制御装置	1	1	複雑な演算や判断をもとに自動で施設内の環境を制御する装置
	環境モニタリング装置	9	9	施設内環境（温度、CO ₂ 等）を計測する装置
	自動かん水システム	18	18	かん水時刻、頻度、水量を自動化する装置
	光合成促進機	18	18	CO ₂ を発生させる装置で農作物生産性を高める
	ウィンドリーマー（施設開閉用）	16	16	温度に応じて換気窓を自動開閉し、温度調整する装置
酪農・肉牛	搾乳ロボット	1	2	乳牛が搾乳場所に誘導され自動で搾乳できる装置
	哺乳ロボット	2	2	子牛の調乳・哺乳作業を自動化する装置
	発情発見・分娩監視システム	2	4	発情や分娩開始タイミングの通知する装置
	行動・疾病監視システム	1	1	病気や起立困難牛の早期発見及び通知する装置

（2023年12月末現在）

【今後の展開】

農作業の負担軽減、省力化、規模拡大、栽培管理の高度化に向けて、様々な機材、装置の導入が進められています。

当事務所では、機械・装置の実証展示により効果の検証や活用支援を生産者、関係機関と連携して実施し、導入に向けて活動しています。



ドローンによる飼料用トウモロコシの防除作業

豊田市内の小学校で枝下用水の出前授業を実施しました

建設課

【取組の趣旨】

豊田市南部地域に農業用水を供給する枝下用水の歴史や役割を豊田土地改良区と連携し、枝下用水近隣の童子山小学校の児童に伝え、食料生産における農業用水の大切さ、施設管理の重要性のほか洪水防止機能など枝下用水が持つ多面的な機能や効果について啓発を図りました。（2023年11月14日実施）

【取組内容】

豊田市内の小学校には、「枝下用水」を題材にした冊子が副教材として配布されており、童子山小学校ではこれを使用して授業を行っています。授業では私財を投じて用水築造に尽力した近江商人西澤真蔵の功績を中心に教えているため、出前授業では農業用水としての役割に加え、防災の役割、人々にやすらぎやうるおいの場を提供する役割などの多面的な機能について説明を行い、実際に枝下用水路の中を歩きました。



童子山小学校の出前授業の様子

【今後の展開】

枝下用水の歴史や役割を伝えることで、農地や農業用施設の持つ役割や効果等について理解が促進されます。出前授業は農業への理解促進に対し大変効果的と思われるので、引き続き実施していきます。



用水路の中を歩いている様子

木材利用の促進が図られています

林務課

【取組の趣旨】

本県では「木材利用の促進に関する基本計画」を2022年度に策定し、木材利用の推進に取り組んでいます。

【取組内容】

① 木造・木質化の推進

Toyota Technical Center Shimoyama 環境学習センターが、第7回愛知木づかい表彰で愛知県知事賞を受賞しました。



周辺環境と一体感のあるデザイン



現地の間伐材を利用した立体トラス構造の梁

写真撮影:ナカサンドパートナーズ

② 木材利用の普及啓発

「とよた産業フェスタ2023(豊田スタジアム)」、「みどりフェスティバル2023秋(愛知県緑化センター)」において、木材利用施設のパネル展示やワークショップを実施しました。



木材利用施設パネルの説明
(とよた産業フェスタ2023)



間伐材を使ったコースター作り
(みどりフェスティバル2023秋)

※木材利用の促進に関する基本計画

「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」及び「愛知県木材利用促進条例」に基づき、木材の利用の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定した計画(2022年度から4年間)。

地域トピックス

被災者を安全かつ迅速に救助するため、「林業労働災害レスキュー合同訓練」を開催しました。

森林整備課

【取組の趣旨】

林業労働災害が発生したときに必要な、被災者を安全かつ迅速に救助するための知識と手順を習得するため、豊田管内の経営体を対象にレスキュー合同訓練を開催しました。

【取組内容】

訓練は豊田市消防本部足助消防署の協力を得て、参加者を実際のけが人に見立てた「止血・骨折処置訓練」「搬送訓練」を行った他、消防署への「緊急通報訓練」を実施しました。

多くの林業経営体は、レスキュー訓練を初めて受講したこともあり、参加した林業技術者の方から「万が一の場合に備えて訓練することの重要性を再認識し大変参考になった」「普段、消防署員の方と交流することがないため、意見交換のよい機会となった」との感想が聞かれました。

- ・日 時：2023年9月14日 午前9時から正午まで
- ・場 所：怒田沢町（県有林内）
- ・参加者：豊田加茂管内の林業経営体7事業所の技術者13名
県・市の森林・林業関係職員15名
足助消防署員7名 合計35名



骨折時の骨折部位と関節の固定方法



身動きができない人を簡易担架で搬送

【今後の展開】

引き続き、関係機関と連携して、林業技術者の育成や安全作業の定着に取り組み、新規林業就業者の確保・育成に努めます。

いいともあいち運動のシンボルマーク

愛称は **あいまる** です！



食と緑の豊田加茂地域レポート2024

愛知県豊田加茂農林水産事務所農政課
〒471-8566 豊田市元城町4-45 豊田加茂総合庁舎内
電話:0565-32-7363(内線340)

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/toyotakamo-nourin/>